

[005]速報 : 九州大学大型計算機センター

<https://doi.org/10.15017/1516235>

出版情報 : 九州大学大型計算機センター速報. 5, pp.1-16, 1970. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :

速 報

No. 5

九州大学大型計算機センター

利用負担金徴収について

さきに速報NO. 2（44年5月26日発行）でお知らせいたしましたが、このたび九州大学大型計算機センター利用に関する暫定措置を定める規定が制定されましたので、この規定に基き利用負担金を下記により徴収させていただきますのでここにお知らせします。

記

国立学校特別会計の歳出予算の場合

1. 利用者への通知

初 回 6月～8月末日までの分をまとめて通知する。（通知済）

第二回 9月～11月末日までの分をまとめて12月中に通知する。

12月以降は暦月の1ヶ月分をまとめ翌月に通知する。

2. 経理責任者への通知

初 回 6月～8月分をまとめて通知し、第3四半期中に予算の移算手続きをいたします。

第二回 9月～12月分をまとめて通知し、第4四半期中に予算の移算手続きをいたします。

第三回 1月～3月分をまとめて通知し、翌年度第1四半期中に予算振替の手続きをいたします。なお九州大学以外の分については、文部省を通じ予算振替の手続きをいたしますので念のため申し添えます。

科学研究費等の場合

1. 利用者への通知

初 回 6月～8月末日までの分をまとめて通知する。（通知済）

第二回 9月～11月末日までの分をまとめて12月中に通知する。

12月以降は暦月の1ヶ月分をまとめ翌月に通知する。

但し、計算依頼の受付は事務処理の都合上、2月15日までで打ちきらせていただきます。

2. 経理責任者への通知

(イ) 経費の通知区分

暦月の1ヶ月分をまとめて翌月に通知する。

(但し、昭和44年度分について6月～11月、12月～2月分をそれぞれ一区分とし、集計し通知する。)

(ロ) 納入の方法

九州大学歳入徴収官が発した納入告知書により最寄りの歳入代理店に納付する。

ファイルの利用（スクラッチファイル、私用ファイル）について

1. スクラッチファイルの利用

(1) 利用の際の制限

1. FORTRAN, ALGOL 実行時のスクラッチのみ
2. JOB 種別と大きさの制限

種 別	大きさ（シリンダ(CYL)）	カード枚数換算値
急行ジョブ	使用不可	注)
普通ジョブ	30 CYL まで	12,000 枚
不急ジョブ	100 CYL	40,000 枚

注) 3,600バイト/トラック 36,000バイト/シリンダです。

(2) コントロールカード

1. 形 式

イ) スクラッチ

注1)

命 令	オ ペ ラ ン ド
\$ <言語>・WORK<機番>	[CYL=使用シリンダ数] [, RCDSIZE=バイト数]

	記 入 す べ き 事	省 略 し た 時
言 語	ALGOL は A, FORTRAN は F と書く 注2)	省略できない
機 番	8, 9, 10 のいずれかを記入	省略できない
CYL=n	n シリンダ確保する	10シリンダとする
RCDSIZE=n	1レコードnバイトとする	1024バイトとする

注1) 記号の説明

< > は必ず書かなければなりません。

[] は省略する事もできます。省略した場合にはセンターが指

定した値が入ります。

——は省略すると—— のつけ方がとられる。

オペランド オペランドに書いたパラメータの順序は入れかえてもかまいません。

注2) $\left(\begin{array}{l} \text{WRITE (8,)} \\ \$ F.WORK 8 \end{array} \right) \left(\begin{array}{l} \text{WRITE (9,)} \\ \$ F.WORK 9 \end{array} \right) \left(\begin{array}{l} \text{WRITE (10,)} \\ \$ F.WORK 10 \end{array} \right) \}$ に対応する。

ロ) GETPUT (ALGOL GET, PUT GETA, PUTA)

	命 令	オ ペ ラ ン ド
\$	A.GETPUT	[CYL=使用シリンダ数]

2. 挿入位置

上記のコントロールカードを\$ JEND カードの直前(データがある時はデータの直後、無い場合\$ LIEDRUN の直後)に挿入してください。

(3) 利用方法

スクラッチファイル利用の際には、計算依頼カードに使用シリンダ数を記入の上、ジョブを依頼してください。

2. 私用ファイルの利用

(1) 私用ファイル媒体

1. 磁気テープ、磁気ディスクバック
2. 磁気テープのサイズは2400フィートか1200フィートで9トラックです。

(2) ボリューム(磁気テープ、バック)の購入および保管

1. 磁気テープ(磁気ディスクバック)購入依頼書を提出すれば、センターが利用者に代って購入手続きをとります。
2. ボリュームは管理、操作上センターに保管するのが一番いいと思

ますが、利用者が保管してもかまいません。

(3) 利用申請

1. 私用ファイルを利用する際には、まえもってファイル使用申請書に必要事項を記入の上、各々のボリュームとともにセンター受付に提出してください。
2. センターでは各ボリュームの初期化処理（イニシャライズ）をしてボリューム通番を利用者に通知します。

注） 使用申請を出せるボリュームの個数に制限はありません。

(4) 利用の際の制限

種別	ボリューム	ボリューム個数/ジョブ		WRITE できる個数	言語	コントロール カード
		磁気テープ	磁気 ディスク			
急行 普通ジョブ	使 用 不 可					
不急ジョブ	磁気テープのみ	3	0	1	ALGOL FORTRAN 実行時のみ	センターが開放したもののみ
特殊ジョブ	磁気テープ 磁気ディスクパック	制限なし ただし (3個/ジョブ ステップ)	制限なし ただし (1個/ジョブ ステップ)	制限なし (左記の個 数内で)	制限なし	利用者が制御文でも記述できる

注） 上記の制限は暫定的なものです。今後変更がある事をお含みおきください。

(5) コントロールカード（FORTRAN, ALGOL実行時のみ）

	命 令	オペランド
\$	<言語>・MT<機番>	<FLNAME=ファイル名>, <VOL=ボリューム通番> [, RCDSIZE=バイト数][, FILE= <u>NEW</u>]注2 <u>OLD</u>

	記入すべき事	省略した時
言語	ALGOLはA, FORTRANはF 注2) 注1)	省略できない
機番 注3) FLNAME=ファイル名	1,12,13のいずれかを記入 利用者がつけたファイル名がつく	"
VOL=ボリューム通番	ボリュームにつけた通番を記入	"
RCDSIZE = n	1レコードの大きさがnバイトとなる	1024
FILE = NEWか OLD	NEW...新しくファイルを作成する OLD...作成済のファイルを使用する	NEWとなる

注1) $\left(\begin{array}{l} \text{WRITE} (\underline{11}) \\ \$ F. MT 11 \end{array} \right) \left(\begin{array}{l} \text{OUTPUT} n (\underline{11}) \\ \$ A. MT 11 \end{array} \right)$ に対応する

$\left(\begin{array}{l} \text{WRITE} (\underline{12}) \\ \$ F. MT 12 \end{array} \right) \left(\begin{array}{l} \text{OUTPUT} n (\underline{12}) \\ \$ A. MT 12 \end{array} \right)$ //

注2) WRITEできる機番は 13 のみです。この機番でのみNEW, OLDの指定ができます。

注3) ファイル名は8文字以内でALPHBETか・(ピリオド)で書いて下さい。(例) Q.CENTER

なお、センターでは利用者のつけたファイル名の頭にQU.を自動的につけるようになっていました。(例) 上の例の実際のファイル名はQU.Q.CENTERとなる。

(6) 利用方法

不急ジョブはファイル使用通知書)に必要事項を記入の上、センター
特殊ジョブは特殊ジョブ計算依頼書

一受付にジョブを依頼してください。

その他、ファイルの実際の使用例、内部の表現形式等詳細は追って広報でお知らせします。

SSLの呼び出し名変更について

富士通より提供されているSSL(科学用サブルーチンライブラリ)は今まで不備な点がいいろいろありましたので、今度、全面的にチェックを行ない、新しく名前をかえて提供される事になりました。

センターでは、一定の予備期間を設けて旧SSLを新SSLに入れかえる作業を行なう事になりましたので、SSLを使用している利用者は、この期間中にプログラムを書き換えて、古いSSLから新しいSSLへの移行を行なって下さい。

FORTRANは提供済ですが、ALGOLはこれより少し遅れて、来年一月中旬になるものと思われます。

移行の期間としては

FORTRAN 45年1月 5日～3月末日

ALGOL 45年1月20日～3月末日

といたします。これ以後、即ち、45年4月1日より新SSLのみ使用可能といたしますので御注意下さい。

又、使用方法解説書FORTRAN編は1月10日頃、ALGOL編は2月頃発行予定です。(FORTRAN編500円、ALGOL編は未定)それまでは、プログラム相談室に備えているソースリスト、解説書を御参照下さい。

尚 学外の方はセンターに問合せ下さい。

呼び出し名、パラメータに関してのFORTRANの新旧比較の表を示しますが、主な変更点は以下のとおりです。

(1) 呼び出し名の変更

呼び出し名の最後にS又はDをつけて、単精度、倍精度の区別を行なっている。

即ち、Sは単精度サブルーチン、Dは倍精度サブルーチンを表わして

いる。

(2) パラメーターの変更

(I) 不用なパラメーターの削除

- ・特に収束判定値を示すパラメーターEPSの内、不用なものあるいは、実際にはサブルーチンの中で使用されていないものを削除した。

- ・整合配列のためのパラメーターの削除

即ち、今まで2次元の整合配列のためのパラメーターとして、才一添字、才二添字共にひきわたしていたものを才1添字のみ、ひきわたす様になった。

- ・作業用領域として使用されていたパラメーターがいくつか削除された。

これによって制限条件が厳しくなったものがありますので使用の際は十分注意して下さい。

(特に連立一次方程式等)

(II) 新しいパラメーターの追加

- ・ほとんどすべてのサブルーチンについて、パラメーターチェック(入力パラメーターが制限条件にあっているか否か)が行なわれる様になり、そのためのパラメーターILLが追加された。

パラメーターチェックにかかった場合、あるいは計算過程でILL CONDITION となった場合には、ILLに0以外の値が与えられ、計算結果は保証されないので、サブルーチンから戻った時、ILLが0か否かを判定して、0以外の値が入っている場合は、結果を使用しない様にして下さい。

(III) パラメーターの順序変更

原則として、入力パラメーターを先に出力パラメーターを後に置く様に変更された。

(3) 以下のサブルーチンは、SSL の中から取り除かれた。

B/006/S 誤差関数 (単精度)

B/006/D " (倍精度)

B/007/S 余誤差関数 (単精度)

B/007/D " (倍精度)

※ これらは、基本外部関数の中に入っている ERF, ERFC (単精度のみ) を使用して下さい。

(4) 以下のサブルーチンが追加された。

G/014/S DABAS 固有値実非対称 DANILEVSKII 法 (単精度)

G/014/D DABAD " (倍精度)

G/016/S EVECS 固有ベクトル SWEEPOUT 法 (単精度)

G/016/D EVECD " (倍精度)

(5) 関数副プログラムの形のものが、サブルーチン副プログラムに変更された。

C/003/S GAUSS 数値積分 (単精度)

C/003/D " (倍精度)

(6) 引数のない形のサブルーチンが、引数をもったサブルーチンに改められた。

I/001/D 最小二乗近似 (倍精度)

※ これによって、今までサブルーチンの中でデータの入出力が行なわれ、このサブルーチンを呼び出すプログラムとの間のデータの受渡しができなかったのが、サブルーチンとの間のデータの受渡しを引数を通してできる様になりました。

分類番号	新	旧
B/001/S	CELI1S(AK, R)	CELI1(AK, R, EPS)
002/S	CELI2S(AK, R)	CELI2(AK, R, EPS)
003/D	EXPGD(X, R, ILL)	DEXPG(X, R, EPS)
004/S	GAMANS(X, N, R, ILL)	GAMMAN(X, N, R, EPS)
005/S	GAMA1S(X, R, ILL)	GAMMA1(X, R, EPS)
006/S		ERFS(X, R, EPS)
006/D		DERFS(X, R, EPS)
007/S		ERFCS(X, R, EPS)
007/D		DERFCS(X, R, EPS)
008/S	LNKAIS(N, R, ILL)	LNKAI(N, R)
/D	LNKAID(N, R, ILL)	DLNKAI(N, R)
009/D	FRES D(X, C, S, ILL)	DFRES D(C, S, X, EPS)
010/D	SID(X, ASI)	DSI(ASI, X, EPS)
011/D	CID(X, ACI)	DCI(ACI, X, EPS)
012/D	BESJOD(X, BJO, ILL)	DBESJO(X, BJO, EPS)
013/D	BESJ1D(X, BJ1, ILL)	DBESJ1(X, BJ1, EPS)
014/D	BESYOD(X, BYO, ILL)	DBESYO(X, BYO, EPS)
015/D	BESY1D(X, BY1, ILL)	DBESY1(X, BY1, EPS)
016/D	BESI0D(X, BIO, ILL)	DBESI0(X, BIO, EPS)
017/D	BESI1D(X, BI1, ILL)	DBESI1(X, BI1, EPS)
018/D	BESKOD(X, BKO, ILL)	DBESKO(X, BKO, EPS)
019/D	BESK1D(X, BK1, ILL)	DBESK1(X, BK1, EPS)
020/D	LEGDD(X, N, PQR, ILL)	DLEGD(PQR, X, N, EPS)
021/S	BEKIS(SYOKO, X, EPS, TERM, SERIES, ILL)	BEKI(SYOKO, X, EPS, SERIES, TERM)
021/D	BEKID(SYOKO, X, EPS, TERM, SERIES, ILL)	DBEKI(/)

分類番号	新	旧
C/001/S	DIFLAS (X, F, N, V, P, ILL)	DIFLA (P, V, X, F, N, EPS)
/D	DIFLAD (X, F, N, V, P, ILL)	DDIFLA (P, V, X, F, N, EPS)
002/S	SIMPS (A, B, FUNC, EPS, Y, ILL)	SIMP (A, B, FUNC, Y, EPS)
/D	SIMPD (A, B, FUNC, EPS, Y, ILL)	DSIMP (")
※ 003/S	GAUSSS (A, B, FUNC, N, EPS, Y, ILL)	GAUSS (A, B, N, EPS, FUNC)
※ /D	GAUSSD (A, B, FUNC, N, EPS, Y, ILL)	DGAUSS (")
D/001/S	CARDNS (A, RP, IP, ILL)	CARDN (A, RP, IP, EPS)
/D	CARDND (A, RP, IP, ILL)	DCARDN (")
002/S	FERRAS (A, RP, IP, ILL)	FERRA (A, RP, IP, EPS)
/D	FERRAD (A, RP, IP, ILL)	DFERRA (")
003/S	BAIR1S (A, M, EPS, RP, IP, ILL)	BAIR1 (A, N, M, RP, IP, EPS, ILL)
/D	BAIR1D (A, M, EPS, RP, IP, ILL)	DBAIR1 (")
004/S	REGFLS (RS, RE, RH, FUNC, EPS, Y, ILL)	REGFL (FUNC, RS, RH, RE, Y, EPS, ILL)
/D	REGFLD (RS, RE, RH, FUNC, EPS, Y, ILL)	DREGFL (")
005/S	CNWTNS (AR, AI, M, EPS, ILL)	CNWTN (AR, AI, M, EPS, ILL)
/D	CNWTND (AR, AI, M, EPS, ILL)	DCNWTN (")
E/001/S	GAUSES (A, K, M, EPS, ILL)	GAUSE (A, K, L, N, M, X, EPS, ILL)
/D	GAUSED (A, K, M, EPS, ILL)	DGAUSE
002/S	GAUELS (A, K, N, M, EPS, ILL)	GAUEL (A, K, L, N, M, EPS, ILL)
/D	GAUELD (A, K, N, M, EPS, ILL)	DGAUEL (")
003/S	SWEEPS (A, K, N, M, EPS, ILL)	SWEEP (A, K, L, N, M, IW, EPS, ILL)
/D	SWEEPD (A, K, N, M, EPS, ILL)	DSWEEP (")
004/S	CSWEPS (A, K, N, M, EPS, ILL)	CSWEP (A, K, L, N, M, IC, EPS, ILL)
/D	CSWEPD (A, K, N, M, EPS, ILL)	DCSWEP (")

関数

分類番号	新	旧
005/S	TRIDGS(A, B, C, D, N, EPS, ILL)	TRIDAG(N, M, A, B, C, D, ILL, EPS)
F/001/S	RKGS(X, Y, M, H, FUNC, F, ILL)	RKG(X, Y, F, H, M, FUNC, EPS)
/D	RKGD(X, Y, M, H, FUNC, F, ILL)	DRKG(X, Y, F, H, M, FUNC, EPS)
002/S	SRKGS(Y, K, N1, M, H, F, SUB, FF, YY, ILL)	SRKG(N1, Y, F, YY, FF, H, M, Q, SUB, EPS)
/D	SRKGD(Y, K, N1, M, H, F, SUB, FF, YY, ILL)	DSRKG(")
G/001/S	MADDS(A, B, C, M, N, ILL)	MADD(A, B, C, M, N)
/D	MADDD(A, B, C, M, N, ILL)	DMADD(")
002/S	MSUBS(A, B, C, M, N, ILL)	MSUB(A, B, C, M, N)
/D	MSUBD(A, B, C, M, N, ILL)	DMSUB(")
003/S	MMUL1S(A, B, C, K, M, N, ILL)	MMUL1(A, B, C, K, M, N)
/D	MMUL1D(A, B, C, K, M, N, ILL)	IMMUL1(")
004/S	MMUL2S(A, B, N, ILL)	MMUL2(A, B, W, N)
/D	MMUL2D(A, B, N, ILL)	DMMUL2(")
005/S	MTRNSS(A, N, ILL)	MTRNS(A, N)
/D	MTRNSD(A, N, ILL)	DMTRNS(")
006/S	MUNITS(A, N, ILL)	MUNIT(A, N)
/D	MUNITD(A, N, ILL)	DMUNIT(")
007/S	MPRTS(A, K, M, N, KETA)	MPRT(A, K, L, M, N, KETA)
/D	MPRTD(A, K, M, N, KETA)	DMPRT(")
008/S	MDETS(A, K, N, EPS, S, ILL)	MDET(A, K, N, S, ILL, EPS)
/D	MDETD(A, K, N, EPS, S, ILL)	DMDET(")
009/S	MINVS(A, K, N, EPS, ILL)	MINV(A, K, N, IW, EPS, ILL)
/D	MINVD(A, K, N, EPS, ILL)	DMINV(")
010/S	JACOBS(A, K, N, EPS, V, ILL)	JACOB(A, K, N, E, EPS)

分類番号	新	旧
/D	JACOB(A, K, N, EPS, V, ILL)	DJACOB(A, K, N, E, EPS)
011/D	FRAMED(A, K, N1, W, C, D, AI, ILL)	DFRAME(A, K, N, N1, AI, C, D, W, T, EPS)
G/012/S	GREDTS(AR, AI, K, N, EPS, ILL)	GREDT(AR, AI, K, N, EPS, ILL)
/D	GREDTD(AR, AI, K, N, EPS, ILL)	DGREDT(/)
013/S	HERMTS(AR, AI, K, N, EPS, VR, VI, ILL)	HERMT(AR, AI, ER, EI, K, N, EPS, ILL)
/D	HERMTD(AR, AI, K, N, EPS, VR, VI, ILL)	DHERMT(/)
014/S	DABAS(A, K, N, EPS, ER, EI, ILL)	
/D	DABAD(A, K, N, EPS, ER, EI, ILL)	
015/S	DANEWS(A, K, N, EPS, Q, ER, EI, VR, VI, ILL)	DANEW
/D	DANEWD(/)	DDANEW
016/S	EVECS(A, K, N, EPS, Q, ER, EI, VR, VI, ILL)	
/D	EVECD(/)	
H/001/D	COFOD(F, N, M, E, A, ILL)	DCOFO(F, N, A, M, E, CH, EPS)
002/D	SIFOD(F, N, M, E, B, ILL)	DSIFO(F, N, A, M, E, CH, EPS)
003/D	COASSD(A, M, X, F1, ILL)	DCOASS(A, M, F1, X, EPS)
004/D	SIASSD(B, M, X, F1, ILL)	DSIASS(B, M, F1, X, EPS)
I/001/D	LSTSQD(X, Y, N, K, COF, ILL)	DLSTSQ
002/D	BSTAPD(VX, VF, M, KMAX, EPS, X, Y, A, B, C, D, SA2, SA3, SA4, K, ILL)	DBSTAP(VX, VF, M, KMAX, EPS, A, B, C, D, SA2, SA3, SA4, X, Y, K, ILL)
003/S	LAGS(X, F, N, V, P, ILL)	LAG(P, N, V, X, F, EPS)
/D	LAGD(X, F, N, V, P, ILL)	DLAG(/)
005/S	CHEBS(F, N, C, ILL)	CHEB(C, F, N, EPS)
/D	CHEBD(F, N, C, ILL)	DCHEB(/)
006/S	TINTS(U, W, C, N, V, SS, ILL)	TINT(SS, V, N, C, U, W, EPS)

分類番号	新	旧
/D	TINTD(U, W, C, N, V, SS, ILL)	DTINT(SS, V, N, C, U, W, EPS)
Z/001/S	POADDS(A, L, B, M, C, N, ILL)	POADD(A, L, B, M, C, N, ILL)
/D	POADDD(")	DPOADD(")
002/S	POSUBS(A, L, B, M, C, N, ILL)	PGSUB(A, L, B, M, C, N, ILL)
/D	POSUBD(")	DPOSUB(")
003/S	POMULS(A, L, B, M, C, N, ILL)	PGMUL(A, L, B, M, C, N, ILL)
/D	POMULD(")	DPOMUL(")
004/S	PODIVS(A, L, B, M, C, N, ILL)	PODIV(A, L, B, M, C, N, ILL, EPS)
/D	PODIVD(")	DPODIV(")
006/S	NORRNS(AM, SD, IX, RY)	NORRN(IX, RY, AM, SD)
007/S	POISNS(AM, IX, KB, ILL)	POISSN(KB, M, IX)
009/S	COMBS(M, N, ZKEISU, ILL)	COMB(M, N, ZKEISU, EPS)
/D	COMBD(M, N, ZKEISU, ILL)	DCOMB(")

年末、年始の業務について

1. 計算依頼ならびに穿孔依頼の受付

年 末 昭和44年12月25日(木) 午後5時まで

年 始 昭和45年 1月 6日(火) 午前9時より

ただし、昭和44年12月25日(木)受付した計算依頼ならびに穿孔依頼のものは、翌12月26日(金)までに処理し、返却します。

2. オープンパンチ室の使用

年 末 昭和44年12月26日(金) 正午まで

年 始 昭和45年 1月 6日(火)より

なお、昭和44年12月26日(金)正午より、昭和45年1月5日(月)までは閉室します。

3. 当センターならびに受付の閉館

年末、年始の特別休暇の12月27日午後より、明年1月5日午前8時30分まで閉館します。

“ お 詫 び ”

11月6日より本センター計算機システムの制御プログラム言語処理プログラムがレベルアップされましたが、レベルアップ時において下記のようなトラブルが発生し、皆様に御迷惑をおかけ致しました事を深くお詫びします。

制御プログラムの障害

主記憶を上限まで使用するジョブ
カードパンチのあるジョブ } の処理が遅れたこと。

FORTRANの障害

1. DEBUG文の処理
2. 異常に大きな値が印刷される。

3. 計算結果が全くおかしいもの。

12月16日現在で上記の障害については、すでに回復しております。もしその他の障害と思われる結果を受け取った方は、プログラム指導員まで御連絡くだされば幸いです。